

5月19日、同年6月12日、同年7月14日の計4回の報告が為されている。以下に各調査の報告内容をまとめる<sup>88</sup>。

**図表 4-46 フィブリノゲン - ミドリ（非加熱）による肝炎発症の調査結果**

年月日	報告症例数
①1987（S62）年 5月8日	39軒 57例
②1987（S62）年 5月19日	45軒 65例
③1987（S62）年 6月12日	47軒 71例
④1987（S62）年 7月14日（最終）	41軒 <sup>89</sup> 74例

出所) H14.5.31 三菱ウェルファーマ社報告書 資料1-(4)-4~7

**オ) ミドリ十字社による肝炎調査の開始（加熱製剤について）**

非加熱製剤であるフィブリノゲン-ミドリと同様に、加熱製剤であるフィブリノゲンHT-ミドリについても、肝炎発症の有無を調査している。フィブリノゲンHT-ミドリに関する調査は、1987（S62）年4月21日から提供した治験品に関する調査と、同年6月11日から提供した市販品に関する調査の2つに分けることができるが、調査結果の報告は、それらを合わせて1987（S62）年11月5日、1988（S63）年4月5日、同年5月6日の計3回なされている。以下に各調査の報告内容をまとめる<sup>90</sup>。

**図表 4-47 フィブリノゲン HT - ミドリ（加熱）による肝炎発症の調査結果**

年月日	報告症例数
①1987（S62）年 11月5日	3例
②1988（S63）年 4月5日	11例 (新規追加8例)
③1988（S63）年 5月6日（最終）	34例 (846症例中)

出所) H14.5.31 三菱ウェルファーマ社報告書 資料1-(4)-8~10

**カ) フィブリノゲンHT-ミドリの回収後の被害実態の把握（1992（H4）年12月まで）**

加熱製剤においても非A非B型肝炎の発症が確認されたことから、ミドリ十字社は1988（S63）年6月6日に緊急安全性情報を配布するとともに、フィブリノゲンHT-ミドリの返品を医療機関に

<sup>88</sup> 同調査における報告内容については、過少報告であったことが明らかになっている。実際の把握数と報告内容との乖離については、次節の「3-ii）国への報告ならびに社内意思決定の実態」で詳しくみる。

<sup>89</sup> 第3回中間報告においては47施設であったが、最終報告時に整理した結果41施設となったもの。（出所）H14.8.29 厚生労働省『フィブリノゲン製剤によるC型肝炎ウイルス感染に関する調査報告書』p.24

<sup>90</sup> 同調査における報告内容については、非加熱製剤の時と同様に過少報告であったことが明らかになっている。実際の把握数と報告内容との乖離については、次節の「3-ii）国への報告ならびに社内意思決定の実態」で詳しくみる。